



2021年8月

学科検定会主催者
JPMA指導員 各位

JPMA パラモーター(PPG) Class I・II・III検定会開催の 注意点とお願い

日本パラモーター協会/JPMA

§ はじめに

指導員(学科検定員)及び主催者の皆様には、できるだけ年間を通したスケジュールの設定にご協力いただけるようにお願いします。(タイミングに応じ、イカロス出版発刊誌及びJPMAホームページ、会報等を通じご案内して参ります。)

実際の受講人数把握は実施日時の2週間前までに御連絡頂ければ基本的に問題はありますが、広く告知が出来ない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

§ 学科講習会

1. 開催は随時可能です。現時点で講師についての規定はございませんが主催者側に於いて、指導員及び学科検定員を中心とした知識/経験(レクチャー等)を持たれた方が行なって下さい。
2. 教材は、テキストブック 及び学科試験問題解説、Class IIIテキストをもとに各関係団体、出版社から発行された資料等を活用していただくようお願い
3. します。参加料、講習会費用(会場費や講師謝礼等の必要経費)は各主催者で設定して開催してください。

§ 学科検定会

1. 指導員に限らず、どなたでも開催の申請ができます。検定は指導員の中から認定された学科検定員に限定されます。(検定員認定は各地の検定員認定者が事前に実施し、JPMA事務局へ報告する)
2. Class IIIの検定は、Class III技量認定証を持つ指導員の中から認定された学科検定員に限定されます。
3. Class- I ,Class- II の同時開催、同時受講も可能ですが、学科講習会との併設の場合には十分な講習時間を確保するよう心がけてください。また、受講者にとって学科の有効期間が実技検定のタイミングに合わず有効切れになる場合がありますので、充分にご注意ください。
4. 学科検定会の受講料金設定は(学科検定員派遣を希望する場合等)基本的には主催者調整して下さい。
5. 検定員の交通費実費、会場費、送料等は受講料(受験料)を徴収し、これに充当します。

§ 申請

1. 学科開催申請は、2週間以上前を目途に指定様式にて届けを行ってください。(FAX・Mail可)
2. 開催申請が事前になされない場合、開催報告があっても無効となる場合があります。
3. 申請内容(人数、日時、場所)に沿って事務局より資料一式(人数分の試験問題、テキストブック・解説、回答、報告用紙等)を発送します。尚、資料や報告など送付物は着払い(主催者負担)扱いとなります。
4. 学科検定試験の問題は予期せず変更される場合があります。学科検定会ごとに使用された資料は全て消費及び返却される必要があり、問題用紙の写しは、その後の合格通知申請時点で受理されません。



§ 内容

1. テキストブック及び試験問題解説(各 2000 円)ClassⅢテキスト(1000 円)の購入が、受験者に義務付けます。検定員及び開催主催者は受講者に合わせ、必要部数を開催申請時にご連絡ください。(事前に受講者が購入済するかを必ずご確認ください)
2. 得点配分に留意し、主催する検定員が出題問題数を調整できます。(試験時間は最低でも 60 分を基準)
3. 継続的に学科検定問題集及びテキストの内容整備が同時に進められています。皆様のお気づきの疑問点、不明点、新たな問題等ございましたら、事務局までお寄せ下さい。

□ 採点と報告

学科検定会終了後、解答の得点配分に注意して採点してください。(1回答の点数配分を考慮してください。) 合格点は 70 点以上です。(指導員の責任において、出題する問題数を調整することも可能です。)

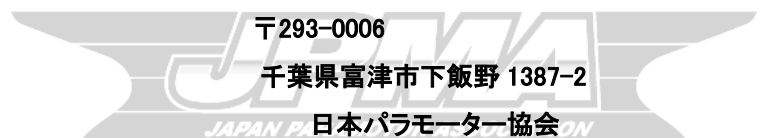
1. 学科試験問題の解答用紙は、検定会終了後、採点をしたものを含め未使用分も併せて全てご返却下さい。
2. 採点后、合格者分の申請料金(学科合格通知書発行申請料 ¥5000 及びテキスト代-(テキストブック ¥2000/学科試験問題解説 ¥2000/ClassⅢ教本 ¥1000 の送金及び報告書と問題用紙をお送り下さい。尚、不合格者には採点者からその旨通知してください。(JPMA からは合格者へのみ、その通知がなされます。))

□ その他

1. 受講者の学科合格通知の有効期間は 2 年間です。この期間内に実技検定を受けるよう指導して下さい。
2. 合格通知は、検定員によって事務局に報告された後、1 月以内に各受験者に通知されます。
3. この通知書(葉書)を紛失した場合、再発行の手数料が ¥2000-かかりますので、技量認定申請を行うまでは保管するよう、事前に指導してください。
4. 講習では、テキストブックや学科問題解説を中心に、主催者及び検定員において各団体、出版社から発行された資料を活用していただくようお願い致します。
5. 受講者の技量認定証申請は学科検定会において合格し、合格認定申請の受理後となります。

今後の申請方法、申請用紙等変更がある可能性もございますので予めご了承下さい。

ご不明な点は事務局まで直接お問合せください。





学科検定を行う指導員の皆様へ

日本パラモーター協会

ご協力をお願い

学科検定会開催に際し、各地域で指導員(検定員)を中心に資料作成等、その準備をされている事と思われます。

皆様が開催する検定会のなかで、既存学科問題集以外の内容で講習を行い資料作成される場合には、大変お手数ですが JPMA に資料のご提供を、是非お願いいたします。

パラモーター愛好者にとり、現地での実技講習以外に【座学】として講習される機会が少ない中、重要な知識を得るための貴重な学科検定会として、より多くの情報を講習されますよう、どうぞよろしくお願い致します。

また、近年、とくに社会問題視されてきている航空法等に関するテーマ【事故・モラル・マナー含】についても、試験問題にあるなしに関わらず、講習・講義をするよう心がけてください。また、既存問題集以外で必要と思われる問題や要望がありましたらお寄せください。今後、改定されていくテキスト(教本)等の参考にさせていただき、出来るだけ多くの内容を盛り込むことを目指したいと考えております。

以下は、学科問題集—追加補足問題の参考です。この問題を参考に、問題集以外の内容もふまえ、ディスカッション等で更に充実した内容で講習を行っていただくようご協力をお願いします。(各問題に対する解答についてのご意見もお寄せください。)

記

★学科検定・講習に必要なテキスト(問題集と解説)が準備されています。日頃からの講習・レクチャーに活用下さい。

ディスカッション内容 例

- 電線に引っかかった場合の処置は？
- 酒を飲んで飛行するとどのような不具合があるのだろうか？
- エンジントラブル等で、川、海に降りた場合の脱出方法は？
- プレフライトチェックの手順を説明できますか？
- 下記の航空機を優先順に並べてください。
a: パラモーター b: HG c: 気球 d: 飛行船 e: マイクロ
- 先行する航空機を追い抜く場合、どのように追い抜くか？
- パラモーター同士が向かい合いぶつかる恐れのある場合どのようによけるか？
- 同じ高度で交差する場合どちら側が優先か？
- キャンピートライザーを接続しているラインはどのような素か？
- パラグライダーの翼に使われている素材はなにがあるか？
- 偏流飛行とは何か？
- ウインドグラジェンドとは何か？
- フラットスピンとは何か？(ネガティブスピン)
- 2点間を往復飛行する時、コースにたいして垂直と水平に吹く風とでの燃料は？
- 60度バンクで旋回する際に必要な揚力は水平時の何倍か？
- 大気の基本になる気圧はいくらか？
(ヘクトパスカルまたはミリバールで)
- 夏と冬でどちらのほうが空気密度は高いか？
- パラグライダーはどのようにして旋回するか？(空力的に説明)
- パラグライダーはなぜ飛ぶか？
- パラモーターも失速するが失速すると機体はどのような挙動を示すか？
- 下降気流に入ると対気速度が減少する理由は？
- 毎秒10メートルの風が吹くと体感温度はいくら下がるか？
- 高度が500m上がると何度気温が下がるか？
- 積乱雲が発生すると大変危険である。危険を回避する為に重要な事を説明せよ。
- アドバスヨーとは何か？
- プロペラによって誘発されるジャイロ効果と反動トルクの違いは何か？



JPMA 学科検定会 開催申請書

日本パラモーター協会 会長 殿

申請日： 年 月 日

このたび、下記の通り学科検定会を開催致したく申請致します。

(学科開催時には、この書式にて、JPMA 事務局まで事前にご通知下さい。Web等にて告知します。)

学科検定種類	Class I	Class II	Class III	
参加予定人数	人	人	人	人
テキスト 注文数	合計	冊	合計	冊
試験問題解説書 注文数	合計	冊		
★学科開催時の書類送料は主催者負担となります。				
開催日時	年 月 日 ()			
開催場所				
主催者(申請者)	印			
主催者(申請者) 住所(資料送付先)				
連絡先 電話番号				
スクール/クラブ				
学科検定員	JPMA 指導員 :			

【学科講習会】 随時開催可能です。講師についての規定はありませんが主催者側において知識/経験(レクチャー等)をもたれた方が実施して下さい。教材は、JPMAパラモーター(PPG)テキストブック・ClassⅢテキストをもとに関係団体・出版社から発行された資料を活用していただくようお願いいたします。参加費、講習会費は各主催者が設定し開催してください。

【学科検定会】 指導員に限らず、どなたでも開催の申請が出来ます。(検定員を派遣する場合があります。)検定員の判断によりClass I・Ⅱ・Ⅲの同時開催が可能ですが、講習生の理解度を深めるためにも順序だてた講習・検定会の実施を心がけてください。(技量認定を受けるまでの間に学科有効切れになる可能性がありますので配慮してください。)

【実技検定会(技量認定)】 実技検定は、学科合格認定を受けた後、有効 2 年間以内に認定してください。また、技量認定を受けた後半年以内に申請手続きを行ってください。(保留期間が長い場合は受付不可となる場合があります。)

【試験問題】 試験問題は、当日検定員が持参し終了後回収、採点の上 JPMA 事務局へ報告。報告書に従って JPMA より、合格通知書が交付されます。

【学科検定員】 検定員認定制度は、年度ごとに都度整備されています。指導員更新時に学科検定員の認定を同時に受けることができますが、ご不明点はお問い合わせ下さい。

【学科開催申請】 開催日の1ヶ月～2週間前までに申請して下さい。



JPMA 学科検定会 開催報告書

日本パラモーター協会 会長 殿

報告日: 年 月 日

このたび、下記の通り学科検定会を開催致しましたので使用資料一式を添え、報告致します。

報告者	
開催日時	年 月 日 ()
開催場所	
主催者	(印)

受講者 (JPMA 会員登録が有効であること)

氏名	JPMA 会員 No.	学科点数	判定	受講クラス
1			可 / 否	Class I II III
2			可 / 否	Class I II III
3			可 / 否	Class I II III
4			可 / 否	Class I II III
5			可 / 否	Class I II III
6			可 / 否	Class I II III
7			可 / 否	Class I II III
8			可 / 否	Class I II III
9			可 / 否	Class I II III
10			可 / 否	Class I II III

10名以上は様式をコピーして報告してください。

- * 学科の有効期間は2年間です。その間に実技検定を受けるように指導してください。
- * 学科試験問題(テスト用紙)は申請人数分送付しています。コピーは不可です。
- * 学科試験問題の内容は、指導員/検定員の方が抜粋し、得点配分を調整してください。
- * 採点后、報告書とともに合格者分の申請料¥5000-/1人及びテキスト料をご送金下さい。
(全ての資料を未使用分含めてご返送下さい。)

郵便振替口座 口座番号: 00110-0-406001 名義: 日本パラモーター協会)

他金融機関からの送金 ○一九(ゼロイチキュウ)店(019) 当座: 0406001 名義: ニホンパラモーターキョウカイ